

Prefecture, Japan. Sci. Rep. Yokohama National Univ., Ser. II.
No. 25 : 11 - 19, Pl. 1.

<1979>

谷口和也・山田悦正. 能登飯田湾におけるアマモとその他の海産顕花植物の垂直分布と生活史. 日本海区水産研究所研究報告 30 : 111 - 122.

<1980>

出井雅彦・小林 弘. 光合成の学習に関連して、コカナダモの葉緑体の光による移転運動を観察する、中学および高校の生物実験. 東京学芸大学紀要 第4部門 32 : 145 - 151.

喜納政修・屋良朝徳. ホテイアオイによる硝酸性窒素の吸収と生長(ビニールハウス内での実験). 琉球大学工学部紀要 20 : 89 - 99.

橘ヒサ子・佐藤 謙・伊藤浩司. 無意根山大蛇ヶ原湿原の植生 - 北海道高地湿原の研究(III). 北海道教育大大雪山自然教育研究施設研究報告 No.15 : 29 - 48.

Ishigami, M. & K. Morimoto. The cytoplasmic streaming in *Vallisneria asiatica* var. *biwaensis*. Mem. Shiga Univ. Nat. Sci. No. 30 : 50 - 56.

Ohyama, Y. & N. Hashizume. On the survey for conservation planning of *Lysichiton camtschatense* community at the surrounding marsh of Imori-ike(pond) in Myoko-kogen-cho, Niigata Prefecture. 明治大学農学部研究報告 51 : 1 - 18.

<1981>

青山 勲・沖 陽子・西崎日佐夫・中川恭二郎. 自然水域における水質変動とホテイアオイ *Eichhornia crassipes* (Mart.) Solms の生長特性. 農学研究 59 (3) : 125 - 139.

喜納政修・屋良朝徳. ホテイアオイによる硝酸性窒素吸収とその生長に対する pH の影響. 琉球大学工学部紀要 No.22 : 33 - 56.

橘ヒサ子・佐藤 謙. 大雪山天女ヶ原の湿原植生 - 北海道高地湿原の研究(IV). 北海道教育大大雪山自然教育研究施設研究報告 No.16 : 29 - 43.

中西 弘. 琵琶湖南湖の水草および貝類中の PCB の推移. 生態化学 4 (3) : 23 - 29.

Sandan, T. & R. Tokura. Protoplasmic streaming in the younger rhizoidal cell in *Nitella* II. Bull. Kyoto Univ. Educ. Ser. B. No.55 : 44 - 48.

水草関係文献目録(4)

<1928 つづき>

本田正次. 日本ニ於ケルかはごけそう科植物発見ノ小史. 植雑 42 : 282 - 286.

牧野富太郎. シュニツライン氏ノかはごけさう科ノ図. 植研 5 : (88).

———. 我日本ニ於テ学界ニ興味ヲ与ヘシ植物発見ノ略史. 植研 5 : (37) - (49). [ムジナモ、ミゾハコベ、ヒシモドキが扱われる]

<1929>

大賀一郎. 南満州産古蓮の発芽に就て. 日本学協報 5 : 151 - 157.

———. 最長寿の種子古蓮実の話. 12p. 盛京時報社、奉天市.

岡田要之助. おにばすノ葉. 植研 6 : (6) - (9).

小泉源一. 大隈国産ポドステモン科新植物. 薩摩植物誌 1 : 48 - 53.

篠崎信四郎. 東京植物同好会ノ下総手賀沼採集行. 植研 6 : (362) - (366).

土井美夫. ウスカハゴロモニ就イテ(予報)、ツクシボドステモンニ就イテ(予報)、カハゴケポドステモンノ新産地、九州ニ於ケルポドステモン科植物の分布、薩摩植物誌 1 : 53 - 60.

永沼小一郎. 水葵ノ受精法. 植研 6 : (116) - (125).
三木 茂. 深泥ヶ池特に浮島の生態研究. 京都府史蹟名勝天然記念物調査報告 10 : 61 - 145.

<1930>

中野治房. 仁科三湖の植物生態に就て(日本湖沼植物生態第5報). 『日本北アルプス湖沼の研究』(田中阿歌磨著、信濃教育会北安曇部会) : 572 - 609.

羽田良禾. タヌキモの捕虫作用に就いて. 札幌博物学会会報 11 : 175 - 183.

<1931>

太田馬太郎. 紀州新宮蘭ノ沢ノ浮島. 植研 7 : (256) - (261).

小泉源一. 日本産ポドステモン科 (Podostemonaceae

- Japonicae). 薩摩植物誌 2: 94-101.
- 郡場 寛・三木 茂. 白亜紀和泉砂岩の化石コダイアマモ (新称) に関する考察. 地球 15(3): 165-204.
- 藤田謹次. こうきくさニ就テ述ベル. 植研 7:(340)-(346).
- 正宗徹敬. 珍ラシク日本ニ入り来ッたふさじゅんさい (新称) 植研 7:(89)-(92).
- <1932>
- 岩本秀信. あっけしさうノ新産地ヲ報ズ. 植研 8:(144)-(149).
- 倉茂英次郎. 濠の水中溶存酸素の日中変化と日射量との関係(第1報)、(第2報)、気象雑誌 第二輯 10: 373-382, 482-489. [エビモ等の繁茂する水域での DO 他の観測]
- 牧野富太郎. 水豆兒トハ如何ナル植物乎. 植研 8:(195)-(198). [リュウノヒゲモのこと]
- 三木 茂. 蓮花の形態特に双頭蓮に就いて. 盛岡高農同窓会学術彙報 7: 1-10.
- <1933>
- 倉茂英次郎. 濠の水中溶存酸素、遊離炭酸、水素イオン濃度の日中変化と日射量(第3報) 季節的変化. 気象集誌 第二輯 11: 253-266.
- 三木 茂. エトロフ島湖沼産水湿地植物. 陸水雑 3: 10-15.
- . 邦産水湿地植物ノ再生現象ニ就テ. 鳥取農学会報 4: 183-194.
- 都 逢涉. あっけしさうノ朝鮮新産地ヲ報ズ. 植研 8:(477)-(479).
- 湯浅 明. ミズニラの小芽胞に於ける耐寒性の小実験. 植物及動物(以下、植及動)1: 1515-1516.
- <1934>
- 飯田次雄. ミツオジギサウ及びミツキンバイの通気組織に就て. 植及動 2: 531-539.
- 内田喜代志. ミズニラ *Isoetes japonica* Al. Br の解剖学的観察. 広島大学博物学会誌 No.1: 77-79.
- 大賀一郎. 蓮花の異型雌蕊と子房面の一突起に就て. 植及動 2: 1665-1671.
- 菅野利助. 日本産マリモの研究、主として其球形集団に就て. 日本水産学会誌 2: 217-228.
- 小泉源一. 水韭(*Isoetes*)の系統. 植物分類地理 3: 38-39.
- . 屋久島産かはごろも新品. 同上 3: 178.
- 竹内 亮. 薩摩蘭牟田池の植物生育相と浮島の観察及びその起源に就て. 植及動 2: 1021-1027.
- 牧野富太郎. 断枝片葉(其六十七)ひつじくさノ花ハ何時ニ開キ何時ニ閉ヅル乎. 植研 10: 127-128.
- 三木 茂. 千島のヒルムシロ (*Potamogeton*) 属に就いて. 陸水雑 3: 112-128.
- <1935>
- 石田周三. アジモの簇生に依る海水の状態の変化. 植及動 3: 613-616.
- 大賀一郎. 南満州普蘭店産古蓮実のその後. 植及動 3: 71-80.
- . 再び蓮花の異形雌蕊について. 植及動 3: 547-551.
- . ハスの開花について. 理科教育 4:(3)-(14).
- . 東京附近の食用蓮の品種に就いて. 日本学協報 10: 166-170.
- 岡田要之助. オニバス種子の“気永き発芽”に就て. 生態学研究 1: 14-22, 131-139, 225-234.
- . 本邦に於けるオニバス分布に就て. 生態学研究 1: 156-158.
- 佐々木正人. 車軸藻類の細胞学的研究法及び二三の観察結果(1). 植及動 3: 769-774.
- 高橋基生. 水草体中に於ける水分通導作用に就て(予報). 植及動 3: 1524-1526.
- 三好 学. 猪苗代湖の沈水蘚群落の発見に就て. 植及動 3: 915-918.
- <1936>
- 大賀一郎. 我が国に見られた生活力を有する古蓮実について. 植及動 4: 1505-1518.
- . 食用シナバスの渡来と其の特性. 植及動 4: 1172-1180.
- . 「ハス」に関する知識. 理学界 昭和11年7月号: 1-7.
- . 双頭蓮と妙蓮. 実際園芸 21: 145-151.
- . ハスは在来品か渡来品か. 武蔵野 23: 5-11.
- . 不忍の蓮. 同上 23: 12-19.
- . 観蓮節餘滴 - 蓮の開花音論争一瞥. 同上 23: 22-40.
- 正宗徹敬. 台湾に於けるヒルムシロシバ (*Hygroryza aristata*) の発見とその植物地理的意義. 植及動 4: 455-457.

- 吉村信吉, 箱根芦ノ湖に於ける車軸藻の同化作用研究
予報, 気象集誌 第二輯 14: 124-130.
- <1937>
- 宇佐美正一郎, 水生蘚苔類ノ呼吸及ピ炭酸同化作用ニ
就イテ, 植雑 50: 372-379.
- 大賀一郎, 食用シナバスの蓮根について〔I〕,〔II〕,
植及動 5: 39-46, 425-431.
- , ハスの地下茎の發育状態について,
日本学協報 12: 554-560.
- , 蓮根の形態と其生長とについて,
糧食研究 168号: 367-381.
- , 蓮の開花の観察と開花音の実験,
理学界 35: 833-850.
- , 蓮の開花音論争と開花及所謂開花音の実験
観察, 樹海 1: 5-47.
- 岡田要之助, おにばす種子ノカタラーゼノ性質ニ就イテ,
植雑 51: 324-332.
- 高橋源三, 猪苗代湖ニ産スル毬苔ノ発見並ニ其成因ニ
就テ, 植研 13: 521-528.
- 田中信徳, フトイの複合染色体, 遺伝学雑誌 13: 254.
- 戸倉 章, じゅんさいノ開花ニ就イテ (其一),
植研 13: 829-839.
- 畠山伊佐男, 蓮の花の温度に就いての観測,
植及動 5 463-468.
- 林 寛, 北出雲産ヒルムシロ属, 植研 13: 131-132.
- 三木 茂, 山城水草誌, 京都府史蹟名勝天然記念物調
査報告 18: 1-127.
- <1938>
- 大賀一郎, 観蓮節の由来, 蓮 1: 4-12.
- 岡田要之助, オニバスの開展花に就いて,
生態学研究 4: 159-163.
- 戸倉 章, ひつじぐさ(睡蓮)ノ開花ニ就イテ,
植研 14: 344-354.
- 原 寛, みくり小記, 植研 14: 132-136.
- 三木 茂, 遺体より見たる亜細亜水草,
陸水雑 8: 410-416.
- 山口久直, 琵琶湖南部に於ける高等水生植物の生態分
布, 生態学研究 4: 17-26.
- <1939>
- 岩田重夫, ひしノ新変種, 植研 15: 245-252.
- 大賀一郎, 蓮の開花に関する研究,
日本学協報 14: 630-636.
- 大賀一郎, 上野不忍池に埋藏されてゐる古蓮実,
蓮 2: 17-27.
- , 永海秋三, 再びシナバスの蓮根の形について
〔1〕,〔2〕,〔補遺〕, 植及動 7: 684-
690, 868-874, 1027-1033.
- 奥津春生, 日本産化石 Trapa (菱) 属及び其の2新種,
地質学雑誌 46: 328-329.
- 中路正義, ミチンコウキクサの研究,
植及動 7: 552-558.
- 松島真次, Helodea densa ノ光合成ニ及ボス重炭酸塩
ノカチオン及炭酸ノ影響,
植雑 53: 221-228.
- , Helodea の原形質解剖,
植及動 7: 902-910.
- <1940>
- 大賀一郎, 蓮の栽培史, 蓮 3: 21-45.
- 佐藤月二, こなうきくさ京城ニ越冬繁殖スル,
植研 16: 309.
- 清水正元, 水前寺並に江津湖の水生植物の生態,
植及動 8: 1794-1798.
- 三木 茂, 満州産の水草, 関東州及満州国陸水生物調
査書: 469-476.
- <1941>
- 岩田悦行, 湿原の生物学的研究(3)睡蓮沼湿原,
生態学研究 7: 27-50.
- 大賀一郎, 蓮の花の咲き方、見方, 蓮 4: 6-14.
- 神保忠男, 湿原の生物学的研究(5)睡蓮沼群の研究(第
一報), 生態学研究 7: 129-140.
- 原 寛, ひしもどき, 植研 17: 380-382.
- 松田孫治, えびもノ葉ノ運動と和名, 植研 17: 484.
- <1942>
- 新 敏夫, カハゴロモ (Hydroanzia japonica) につ
いて, 広島大学博物学会誌 No.10: 28-30.
- 神保忠男, 湿原の生物学的研究(8)睡蓮沼群の研究(第
二報), 生態学研究 8: 236-242.
- 田中信徳, ヌマハリイの細胞学,
植及動 10: 1017-1020.
- , 同(2), 植及動 10: 1097-1110.
- 中井猛之進, 東亜植物拾遺(其二十一)〔満鮮ノひし〕
植研 18: 421-437.
- 原田市太郎, ヒルムシロ属植物の染色体数,
医学と生物学 1(1): 9-12.

- 宝月欣二. みづきんばいノ呼吸根ノ生理生態学的研究.
植雑 56 : 172 - 181.
- 朴沢茂雄. みづにら朝鮮ニ産ス. 植研 18 : 547.
- <1943>
- 楠 正貫. くろもノ原形質回転運動ノ種々及ビ其他ノ
二三ノ現象ニツイテ. 植雑 57 : 237-245.
- 中井猛之進. 東亜植物拾遺(其二十六)〔日本産スプタ
属を整理している〕. 植研 19 : 245-251.
- 原田市太郎. イバラモ属(Najas) 8種の核型に就て.
遺伝学雑誌 19 : 120 - 121.
- . いばらもノ花粉粒ニ於ケル染色体異変.
植雑 57 : 387.
- 宝月欣二. 二三水生植物ノ浮葉ノ生態学的知見.
植物生態学報 3 (1) : 28 - 37.
- 山口久直. 琵琶湖の水草. 陸水雑 13 : 92 - 104.
- 吉井義次. ヒツジグサノ開花現象ノ観察.
生態学研究 9 : 153 - 161.
- 吉村フジ. 浮萍科植物ノ生育ニ対スルビタミンB₁ノ
必要性に就いて. 植雑 57 : 156 - 171.
- . 浮萍科植物ノ生育ニ対スル必要元素.
植雑 57 : 319 - 331.
- . 浮萍科植物ノ生育ニ対スルモリブデンノ意義.
植雑 57 : 371 - 386.
- <1944>
- 原田市太郎. スガモ属ノ性染色体.
遺伝学雑誌 20 : 127 - 128.
- 宝月欣二. 手賀沼に於ける生産に関する一研究.
科学 14 (8) : 279 - 281.
- 久内清孝. えぞひるむしろヲ野尻湖ニ得タリ.
植研 20 : 177.
- 前川文夫. はすトおにばすノ利用. 植研 20 : 62-63.
- 御江久夫. みちんこうきくさ支那ニ産ス.
植研 20 : 61.
- 山口久直. 琵琶湖南部湖底に於けるエビモノ休芽ノ分
布. 陸水雑 13 : 147 - 152.
- 吉村フジ. 浮萍科植物ノ塘培養. 植雑 58 : 15-26.
- <1946>
- 吉村フジ. 浮萍科植物ノ休眠体形成に就いて.
植雑 59 : 1 - 13.
- <1947>
- 大賀一郎. 蓮ノ話. 多麻史談 15 : 11 - 18.
- 原 寛. 日本産バイクワモノ分類.
植雑 60 : 77 - 82.
- 藤原彰夫・坪井一郎・吉田文武. アカウキクサノ遊離窒
素固定作用に就て(予報).
農学 1 : 361 - 363.
- 吉村フジ. 浮萍科植物ノ生理学的研究 I. 実験材料
植物. 生物 2 : 141 - 148.
- <1948>
- 今堀宏三. 東亜輪藻類雑記(其の一)
植研 22 : 40 - 45.
- 小林国夫・赤塩一己. 信州北部に於ける Menyanthes
化石ノ出現. 地質学雑誌 54 : 133.
- 原田市太郎. 沼生群植物ノ染色体数について.
植雑 61 : 81 - 82.
- . アマモ属ノ核型と糸状花粉形成.
遺伝学雑誌 23 : 13 - 14.
- 宝月欣二. 手賀沼湖沼植物ノ生態学的概報.
植雑 61 : 17 - 21.
- 三木 茂. Hemitrapa と化石ヒシノ分類上ノ位置に就
いて. 植雑 61 : 74 - 77.
- <1949>
- 石塚和雄. 湿原ノ生物学的研究(10) 横沼及び横沼湿原ノ
植物群落(未完). 生態学研究 12 : 1 - 9.
- 服部新佐. 山西省産ウキゴケ属ノ一新種.
植雑 62 : 109.
- 吉村フジ. 浮萍科植物ノ生理学的研究 II. 個体ノ連
結. 生物 4 : 8 - 15.
- 渡辺景隆. 石神井公園三宝寺池にミツガシワ(Menyan-
thes trifoliata)ノ存在スル意義について.
科学 19 : 381.
- <1950>
- 新崎盛敏. アマモ, コアマモノ生態(I), (II). 日本水
産学会誌 15 : 567 - 572, 16 : 70-76.
- 今堀宏三. 東亜輪藻類雑記(2). 植研 25 : 73 - 75.
- 大賀一郎・永海秋三. ハスノ受精について(第二報).
遺伝学雑誌 25 : 30.
- 原田市太郎. セキショウモ属ノ核型分析. 細胞遺伝学
論文集(小熊記念集) : 145 - 151.
- 吉村フジ. ウキクサ科植物ノ生理学的研究 III~VI.
植雑 63 : 63 - 69.
- <1951>
- 大賀一郎. 種子ノ寿命 - 私の夢 - 悲願. 千葉県検見川
草炭地ノ古蓮実ノ発掘.

- 採と飼 13: 206—208, 212.
- 加崎英男. 上北湖沼群の車軸藻類について.
植研 26: 65—70.
- 久内清孝. クロモの越冬記. 採と飼 13: 383.
- <1952>
- 今堀宏三. Tolypella 属日本で次々発見される.
北陸の植物 1: 1—3.
- 香室昭円. 渇水期を有する湖沼の植物生態学的研究Ⅱ.
渇水直後の池底群落型に就いて.
北陸の植物 1: 33—36.
- 木村久吉. カハホネ属の二三の形質の解剖.
金沢大学薬学研究年報 2: 49—55.
- 豊国秀夫. 大雪山沼の原高層湿原の植物景観.
植研 27: 125—129.
- 中山至大. サンショウモの奇形. 採と飼 14: 179.
- 原田市太郎. 二三双子葉水草の染色体研究.
遺伝学雑誌 27: 117—120.
- 堀川芳雄・斉藤 実. 尾瀬ヶ原湿原に於ける池塘の水
生植物について (予報).
ヒコビア 1: 137—143.
- 三木 茂. 遺体からみたヒシ (Trapa) の形態的諸性質
と水生への適応等について.
生態学会報 2: 111—116.
- 吉村フジ. ウキクサ科植物の硝酸還元並にアンモニア消
費に及ぼす光の影響. 植雑 65: 176—185.
- <1953>
- 今堀宏三. 東亜輪藻類雑記 (3), (4).
植研 28: 11—16, 257—266.
- . 石川県産輪藻の沿革及び特異性 (I), (II).
北陸の植物 2: 43—45, 57—59.
- . 輪藻類が蚊の産卵及び発生に及ぼす影響.
藻類 1: 45—48.
- 内田萬二. ホテイソウの花の奇形.
植物趣味 15: 30—32.
- 河津 博. ハスの葉脈数. 採と飼 15: 115.
- 新 敏夫. 日本産カワゴケソウ科図説 (II), (III).
広島大学生物学会誌 5: 31—34, 35—38.
- 原 寛. ミズキンバイ. 植研 28: 208.
- 久内清孝. カボンバの水上葉. 植研 28: 43.
- 松村義敏. コロラドと日本に共通の水草.
植物趣味 15: 3—10.
- 吉村フジ. ウキクサの花青素の形成と集合.
- 採と飼 15: 226—227.
- <1954>
- 石部 修・谷口森俊. 津市郊外のミズバショウ.
採と飼 16: 332.
- 今堀宏三. 東亜輪藻類雑記 (5). 植研 29: 153—159.
- 越智一男. 愛媛県に分布するウキクサ科の一種につい
て. 北陸の植物 3: 13—15.
- . ホテイアオイの原形質流動と花後作用.
採と飼 16: 138—139, 153, 158.
- 倉内一二. 愛知県牟呂用水の植生と環境.
植物生態学会報 3: 186—192.
- 新 敏夫. 日本及び中国のカワゴケソウ科新知見.
植研 29: 73—78.
- 須賀瑛文. 美しいハデフラスモ—結実枝の写真—
採と飼 10: 288.
- 辻井達一. 釧路厚岸湖畔アッケシソウの生態 (第一報)
北海道塩湿地植物群落の研究 (I).
植物生態学会報 3: 236—249.
- 松尾秀邦. 福井県産東亜最古のハスの葉の化石につい
て. 北陸の植物 3: 1—5.
- 吉岡邦二・小林 勝. 蓋沼の浮島.
福島大学理科報告 No.3: 1—7.
- 渡辺良象. 猪苗代湖産のマリゴケの行方.
採と飼 16: 76—77・78.
- <1955>
- 生嶋 功. ウキクサ個体群の生長と密度効果.
生理生態 6: 69—81.
- 泉 靖一. マリモの伝説. 遺伝 9 (8): 10—11.
- 伊藤 洋. ミジンコウキクサの花が咲いた.
植研 30: 302.
- 今堀宏三. シャジクモの採集と鑑定のとびき.
藻類 3: 75—81.
- 内田萬二. コナギの自花交合受粉.
採と飼 17: 35—37.
- 小林 勝. ビャッコイの産地について. 福島大学学芸
学部理科報告 No.4: 19—23.
- 阪井与志雄. マリモの生態. 遺伝 9 (8): 4—9.
- 野津良知. 我国におけるミズワラビの前葉体の発見.
植研 30: 301—302.
- 三木 茂. トカラ諸島中の島底無池の水生植物につい
て. 陸水雑 17: 39—43.